

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

406号

2025年新年号

자주

発行：韓統連大阪本部 自主編集委員会

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1回発行 購読料年間4000円

郵便振替 00940-7-314392

自主編集委員会

祖国解放80周年を希望の年にしていこう！

韓統連大阪本部代表委員 金昌範(キム・チャンボム)

2024年は私たち民族にとって振幅の大きな年でした。

年初早々から、北＝朝鮮政府から南＝韓国に対して絶縁が宣言されました。祖国統一どころか、ひんぱんに行われる軍事演習を始め韓米日による戦争準備が進められる中で、この危機状況をどのように知らせ、そして歯止めをかけるためどのように力をつけていくのかについて考え悩んだ年でした。一方で尹錫悦政権を追い詰める民衆の力が、ついに大統領弾劾決議までを実現しました。国内民衆の闘いに大いに励まされ力を得る中で年を越すことができました。

2024年はまた、韓統連大阪が4月から新たな執行部で出発する年でもありました。現在の韓統連大阪が決して豊富な人力を備えているとは言えない中でも、各自が精一杯努力して1年を乗り越えた、そんな年でした。ひとつひとつ取り組んだ事業を振り返ってみると、これ以上ないほどやり切れたことも、考えや方法について至らないことに気づかされたこともありました。いずれを振り返っても明確な目標をもとに計画、準備し、汗を流していかなければ、大きな楽しさや喜びを得られないという、そんなごく基本的なことを痛感した年でもありました。今年2025年も努力していきたいと思います。

今年はずでに、二つの大きなテーマが私たちの前に浮かび上がっています。

祖国解放80周年、韓日条約締結60周年を迎えた今年、韓国でも日本でも、右から左までの様々な動きが世の中のうねりを作るでしょう。この日本社会では歴史修正主義と排外主義が一定の力を得ている中で、私たちが在日同胞の尊厳を棄損する出来事が数多く起こっています。それらを跳

ね返し、正しい歴史観のもとに正しい関係性を築き上げていくための連帯の在り方が問われていると思います。日本の新軍国主義が朝鮮半島の緊張激化要因として大きく浮上している中で、国内の自主平和運動といかに有効に連帯していくのかも、また問われています。

そしてもう一つのテーマは、韓国の政権のゆくえです。国会で弾劾された尹大統領と極右与党「国民の力」は、依然権力を保持しようと躍起になっています。今後も、尹錫悦一派に対する監視と運動を力強く続けていくであろう国内民衆との共感のもとに、私たちが連帯し動いていきたいと思います。尹政権退陣のあとに政権交代が実現すれば、それは自主的民主政府樹立に一步近づき、自主平和統一運動の追い風にもできます。

2025年は、心配し警戒しなければならないことが多いですが、それ以上に明るい展望が見えます。過去80年間、私たちの民族を蹂躪してきた米国とそれに追従する勢力は、もはや絶対的な存在ではなく、相対的にも力を弱めています。民衆の力が強くなればなるほど、彼らが世界に押し付けてきた秩序が崩壊する日が近づいてきます。

抑圧されている人々と痛みを分かち合う気持ちを忘れずに、自主的で友愛に満ちた世界実現のその日を、皆さんとともにたぐり寄せたいと思います。今年もよろしくお願ひします。



新年明けましておめでとうございます。

「自主(チャジュ)」2025年新年号では、日頃から韓統連大阪本部と連帯関係にある各界の方々から、新年辞を送って頂きましたので、紹介させていただきます。

2025年新年辞

在日韓国良心囚同友会代表 李哲(イ・ Chol)

「自主」の読者の皆様「新年おめでとうございます」。

皆様もよくご存じのように韓国の尹錫悦大統領は12月3日、全国に非常戒厳令を宣布し、クーデターを企てましたが、国会が迅速に非常戒厳令の解除を可決したため、クーデターの企ては6時間後に失敗せざるを得ませんでした。非常戒厳令と同時に国会には「特戦司707部隊」の兵力600名以上、警察機動隊1900名が動員されて緊迫した中、戒厳令の発動を知った国民たちがいち早く国会に集まって軍・警を阻止したため、国会で解除を可決することができたのでした。そして12月14日には200万人以上の市民たちが国会前を埋め尽くした中、国会では内乱罪の尹錫悦を弾劾する決議を行いました。今年の早々には憲法裁判所が弾劾を認め、尹錫悦は罷免されることでしょう。

今年のノーベル文学賞に輝いた韓江(ハ・ガン)作家は「死んだ人たちが生きている人たちを助けることができるのか?」「過去が現在を助けることができるのか?」と呟きましたが、まさに「光州5・18」などを経験した民衆は、わずかの時間内に国会前を埋め尽くして戒厳事態を防いだのです。私たちは今回も韓国の民衆、民主主義の底力をはっきりと確認することができました。

私は昨年自主の新年辞で「今年が韓国の検察独裁にピリオドを打ち、民主主義発展の画期的な年となりますよう祈願致します」とご挨拶しましたが、年末を数日残して韓国民衆は新たな歴史的な民主革命を成すことができました。2025年は新しい民主政府が樹立され、韓国の民主主義はさらに大きく発展するでしょう。



また私ごとで恐縮ですが、数日前に私の獄中記「長東日誌」が今年の韓国文化体育観光部傘下の韓国出版文化産業振興院より、世宗図書(優秀図書)として選定されたという嬉しいニュースが入り、昨年は私個人にとっても、韓国民主主義にとってもまたとない慶事で2024年を終えることができました。このことも皆様にご報告いたす次第です。

今年は、私たちが在日政治犯たちの「11・22事件(1975年)」から50年を迎える節目の年です。私たち同友会は50年前の悲惨な記憶を忘れないためにも素晴らしい記念行事を企画し、さらに一歩進んで行こうと考えています。同友会は今年も皆様とともに進んで参ります。今年も皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

世代を超えて、希望を渡していこう！ 朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪 事務局長 長崎由美子

朝鮮学校への高校無償化除外と大阪府・市の補助金停止に抗議し、火曜日行動を2012年4月17日に大阪府庁前で始めた。こどもの夢と希望を大人が奪わない、こどもが自国



の言葉や文化を学ぶ権利を奪わない！この当然の権利が認められず来年1月14日には火曜日行動は600回を迎えることになってしまった。

朝鮮学校への差別は、まさに日本の政治が侵略と植民地支配をした過去を消し去り、差別・排外を推しすすめる象徴である。2024年衆議院選挙で自公与党は過半数割れし、政治は動き出したが、朝鮮学校無償化適用に野田立憲代表は否定的な発言をしている。朝鮮学校への差別を、この政治が変わる流れでぜひとも実現していきたい。

13年になる火曜日行動には高齢者の参加が多いが、世代を超えて若い人も参加する。高校のときから参加し、仕事についても休みには参加する若者、オモニ(母)と来ていた幼児が学生となり参加する。学生だった人が母となって子どもを抱

いて参加する。自分が受けた苦しみを次世代に渡したくないと話す。

韓国では尹錫悦大統領の戒厳令を市民が国会に駆けつけ、軍から国会議員を守り、6時間で戒厳令を解除させた。その後、尹大統領には弾劾決議が成立した。軍事政権下で血を流しながら勝ち取った民主主義を守る韓国市民の姿は、人間の誇りを教えてくれる。そして韓国でも若い女性たちが素晴らしい働きをしている。格差競争社会で切り捨てられる人を放置し、その不満や苦しみが女性差別や排外につながり、尹政権を支えてきたと指摘し、苦しむ人に寄り添う発言をしている。

韓国でも、日本でも、次世代が希望をつなぐ行動を起こしている。大人が諦めない姿を見せることが次世代にバトンを渡すことだと思い2025年も歩んでいきたい。

2025年1月14日、600回火曜日行動で皆さんとお会いしましょう。

東アジアの平和と朝鮮の統一を 日韓民衆の力で勝ち取る年に！ おおさかユニオンネットワーク代表 西山直洋

新年あけましておめでとうございます。

世界ではロシア・ウクライナ戦争、パレスチナ・イスラエル戦争が続く中、大国が危険な道を作ろうとしています。しかし、世界各国の労働者・民衆はそのことを許さず、各地で反撃の行動が激化してきており、同時に労働者のストライキも増えてきている状況です。

またアメリカは、バイデンからトランプへの大統領復活交代劇がありましたが、本質は変わりません。この世界情勢悪化の原因を創り出している米国覇権体制こそ終わらせていかなくてはなりません。まさに民衆の決起こそ平和への道であり、その道筋ができれば、朝鮮の平和統一も近づけることができると確信しています。

一方、韓国では尹錫悦大統領が12月3日に突



如「非常戒厳令」を宣布しました。

国の先行きを考えず、極右 YouTube を視聴しての思考回路の崩壊は政治家とはいえない姿であり、陰謀論に食われている大統領を韓国の労働者・民衆は許すことなく、すぐさま行動に立ち上がったことに、私たちも共に闘う決意にさせられました。

韓国の労働者・民衆はすぐさま立ち上がり、国会前に結集。12月4日には民主労総も即座に「尹政権退陣まで無期限スト」に入ると宣言しました。

韓国労働者・民衆の決起に日本民衆も今こそ学び、今の日本の政治を変える取り組み、行動を行わなくてはなりません。

また日本資本による韓国での労働者弾圧は現在も続いています。サンケン電気、韓国ワイパーの闘いは、まさにグローバル資本の諸外国での横暴を日本の労働者、労働組合が決起して、連帯行動によりサンケン、ワイパー闘争は解決したものの、新たに日東電工（韓国オプティカルハイテック闘争）が韓国で労働者弾圧を仕掛けてきています。このことから、おおさかユニオンネットワークではこの闘いに連帯して、年明けからの労働委員会闘争を控えています。

日本の権力者たちは米国に追随するため、日本でも仮想敵国を創り出し、民衆を騙して防衛予算を増額し、戦争への道を創り出そうとしています。物価上昇により、その恩恵を受けているのは一部の者だけです。昨年末から自民党安倍派の「キックバック」政治資金パーティー問題で、私腹を肥やす政治家たちがいることも改善されず、年を越した状況であります。私たちは今の政治にごまかされない思想強化を必要としています。

大阪でも嘘とごまかしで政治を作る維新政治は、強引に万博カジノを進めようとしています。今まさに韓国のキャンドル革命のような闘いが日本で、大阪の地で必要な時期に来ています。労働者、民衆が連帯して、民衆のための、労働者のための社会を作り出していかなければ未来を勝ち取ることはできません。

そのためにはまず歴史の歪曲化を許さず、過去の植民地支配、慰安婦問題、徴用工問題等の反省と真の謝罪と補償を早急に日本政府に対し求めな

くではありません。そして在日朝鮮人、韓国人に対する差別をなくし、朝鮮学校への補助金カット、無償化対象からの排除を直ちに撤回させ、朝鮮民主主義人民共和国への制裁をやめさせ、日朝国交正常化に向けた話し合いをしなければなりません。

そして一方的なレッテルと差別、人権無視を一切認めず、東アジアの平和を求めることが、朝鮮の平和統一への道であり、私たちの運動によってしか作れないことに確信を持たなくてはなりません。新年はまさに資本権力が一体となった現政治家たちにわからせていく行動が必要となります。今こそ日韓民衆連帯の闘いを作り出し、日本国内で反撃と決起をしなければなりません。

おおさかユニオンネットワークとして本年も韓統連大阪本部の皆様とともに、朝鮮の自主的平和統一に向け奮闘し、ともに連帯していくことを誓い、新年の挨拶とさせていただきます。

戦争なき世界に！

日韓平和連帯事務局長 横山貴安基

新年、あけましておめでとうございます。

世界の情勢に目を向けると、とてもおめでたいとは言い難く、ロシアのウクラ



イナ軍事侵攻から3年近くが経過しようとしています、いまだ終わりが見えていません。

パレスチナ・イスラエル戦争では、一般人をはじめ大量の虐殺が行われており、多くの命が失われています。それらに付随して世界中の平和が脅かされていると感じます。

経済は大きな打撃を受け、燃料をはじめあらゆる物の価格が上昇、人々の暮らしを圧迫しています。東アジアに目を向けると戦争行為こそ起きていないものの、特に日本では周辺国との対立関係をニュースで絶えず報道して危機を煽り、軍備に予算を大量投入しています。世界の平和を破壊する政治に対し、我々は怒りの声を上げ打倒する運動の強化が必要です。

韓国では尹錫悦大統領がクーデターとも思える

非常戒厳令を公布し 結局、失敗に終わりましたが、自身の思い通りにならない、また夫人の疑惑をうやむやにするために行った今回の行為は、国民の命を預かる国のトップとしての資質が問われ、決して許されるものではありません。このような者がなぜ大統領に選ばれたのか？いまだに疑問でしかありません。これをチャンスととらえ、本来の民主主義を勝ち取りましょう。

東アジアの中心国として日本や韓国が、世界に平和を発信する役割を大きく担っているように思います。現在、米国のご機嫌とりに舵を切っている両国は、東アジアの平和を目指す施策は全く見えず、それによって周辺国との距離が広がりを見せています。今こそ「脱米国」政策に転換し、朝鮮の平和統一をはじめ東アジアの平和構築に尽力すべきです。

2025年は第2次世界大戦終戦から80年、韓国では「光復80年」の節目の年です。過去の悲惨な戦争行為を二度と繰り返さないためにも、我々は平和を願い、人々と繋がり、そして次の世代にそのバトンを渡すために声をあげ続けることが大切です。

今年、日韓平和連帯は韓統連と共に訪韓し、8・15集会に参加して国際連帯の輪を広げていきます。我々の存在意義を発揮して東アジア、世界の恒久平和に寄与する組織として運動の進化を継続して取り組んでいきます。



大阪で尹錫悦政権退陣を求める

韓日民衆連帯アクション実施！

12月3日、尹錫悦大統領が突然非常戒厳令を公布したことに対し、韓国民衆の激しい抗議行動が起こり、12月14日に国会で尹錫悦大統領の弾劾訴追案が可決された。

韓統連大阪本部は韓国民衆の闘いに連帯するため3週連続で下記のアクションを行った。

▲「尹錫悦大統領は退陣しろ！鶴橋連帯アクション」JR鶴橋駅前(12/7)。▲「尹錫悦政権は退陣しろ！韓日民衆連帯アクション at 大阪駅前」JR大阪駅前(12/14)。▲「尹錫悦政権弾劾可決！政府・与党の策謀を許さず、民主主義を前進させよう 韓日民衆連帯アクション at ヨドバシ前」ヨドバシカメラ梅田店前(12/21)。

それぞれのアクションには韓統連大阪本部会員をはじめ在日同胞・留学生・日本人多数が参加し、「内乱の主犯 尹錫悦政権は退陣しろ！」などのプラカードとペンライトを持ちながら、リレートークが行われた。



▲プラカードとリレートークで尹大統領退陣を訴える

リレートークでは▲私たちの民主主義は独裁政権と闘い、血と涙で勝ち取ったものだ。それを記憶している多くの国民が今回立ち上がった。▲国民を裏切り、銃口を向けた尹錫悦を許すことはできない。▲犯罪者尹錫悦を引きずり下ろすために闘っている韓国民衆と連帯しようなど、尹錫悦大統領を弾劾し、韓国の民主主義を守るための決意が語られた。



油断することなく、尹大統領弾劾決定まで

韓国民衆と連帯して闘おう！

韓統連セミナー&送年会

韓統連大阪本部主催による「第3回韓統連セミナー2024 情勢講演 激動する韓国、そして朝鮮半島の今」が12月15日(日)、いくのパーク多目的室(大阪市生野区)で開かれた。

セミナーでは、金昌範大阪本部代表委員が主催者挨拶を通じ「今日のセミナーでは、今、どんなことが起こったのか、その土台には何があり、どのようにそれがつながったのかについて、講演を受けながら、皆さんと考えることができたらと思います」と語った。



▲多くの参加者の前で公演する金昌五副委員長

続いて、金昌五(キム・チャンオ)韓統連中央本部副委員長が情勢講演を行った。金副委員長は講演を通じ「尹錫悦の戒厳令公布の目的は▲反政府勢力の一掃、▲選挙管理委員会のデータを改ざんし、4月の総選挙を不正選挙と断定して国会を解散させ、政府・与党主導の新しい国会を構成することだったが、一般市民、国会議員による反撃、戒厳兵士と警察官の命令不服従などによって失敗に終わった」と語った。

そして「今後、憲法裁判所で審議され、早い時期に弾劾が決定するだろうが油断はできない」とし、「私たちも韓国民衆とともに、尹錫悦政権を一日も早く退陣させるために闘っていきましょう」と語った。

講演後は質疑討論が行われ、韓統連セミナーは終了した。

韓統連セミナー後は同会場で「2024年韓統連大阪本部送年会」が開かれた。送年会では金昌範代表委員から第29回統一マダシ生野の動画と韓統連大阪本部の活動報告、参加者からのスピーチが行われ、今年の成果を共有しながら、2025年を飛躍の年にしていくことを確認した。

ケロヨンのちよこつと韓国語パート2ーその①



여러분 새해 복 많이 받으세요 (ヨロブンセヘ ポン マーニパドゥセヨ) 「皆さん、新年に福をたくさんもらってください」おなじみの韓国語による新年のあいさつです。

年のあいさつです。

もちろん個人的な場面なら、여러분(ヨロブン)＝皆さんは必要ないですが、特に気持ちを強調したい時は、많이(マーニ)＝たくさんを長くしたり二回続けたりするといいです。

ただ、日本の新年のあいさつと違って、韓国語のあいさつの場合には年末から使うことができ、例えば2月になって初めてあった人にもこのあいさつが使えます。

ハングル＝한글。よく聞く言葉ですが、これはガヤハンなど文字そのものの呼称で、日本語でいえば「ひらがな」にあたります。したがって「ハングル語」とは言いません。

韓国語は한국말＝ハンゲンマル、または한국어＝ハンゴゴと呼ぶようにしましょう。

안녕하세요＝안녕하세요? と書きますが、

「安寧ですか？」すなわち「お元気ですか？」という意味なので、朝昼夜といつでも使える便利なあいさつです。

ただ、その人と初対面の時は「お会いできてうれしいです」の意で반갑습니다＝パンガッスムニダや반가워요＝パンガウォヨのほうがより気持ちが伝わります。

ヨボセヨ＝여보세요。電話の際の「もしもし」ですが、電話のなかった時代には人を呼びとめる時に使った言葉です。ヨギボセヨ＝여기 보세요 から来ています。

クジョクロッスムニダ＝그저 그렇습니다 日本語には曖昧な表現が多いと言われますが、大阪弁でいうところの「ぼちぼちでんな」がこれにあたります。肯定的でもあり否定的にも聞こえる不思議な言葉ですね。語尾を口語体にしてクジョクレヨ＝그저 그래요と言ってもいいですね。

これから約10年前に連載した「ケロヨンのちよこつと韓国語」を加筆・修正しながら、今号から10回にわたって韓国語に関するちよこつとした豆講座を連載します。

内容や韓国語に関してご質問や、ご意見を編集部までどんどん送ってください。

◆◆行事案内◆◆

第1回韓統連セミナー2025

～朝鮮半島と日本の80年その1～

「8・15解放、自主独立に向かう祖国と日本」

日時：1月26日(日)午後1時30分 受付/午後2時 開会

場所：東成区民センター602号室

(地下鉄今里駅下車2番出口から徒歩3分)

報告者：金昌範(金・チャンボム)韓統連大阪本部代表委員

参加費：800円(青年学生は500円)

主催：韓統連大阪本部/問合せ：090-3822-5723(崔)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月、尹錫悦弾劾のための韓国民衆のダイナミックな闘いがありました。残るは憲法裁判所の決定になりますが、早ければ今年の春頃には大統領選挙が予想されます。

今年も正しい朝鮮半島情勢の見方などを読者の皆さんにお伝えします。今年も「自主(チヂュ)」をよろしくお祈いします。

(ソソ)